



令和2年度 十和田市立三本木小学校 学校だより 令和2年11月6日(金)

杉の子 No. 9

文責：校長

十和田市東三番町36-1
TEL 23-7178
特別支援教育センター
TEL 23-9553

同じでなくていい

校長 江 渡 準 悦

秋も深まり、そろそろ冬支度。吹く風が身に染みるほど寒い季節となりました。保護者や地域の皆さま、どうぞお風邪など召されませぬようご自愛ください。

ところで、皆さんはNHK朝の連続テレビ小説をご存じでしょうか。私はこの大ファンで、帰宅すると録画していたその日の放送分を見るのが、この上ない楽しみとなっています。そして、物語に出てくる台詞で気になるものがあると、その都度一時停止ボタンを押して、ノートにその台詞をメモしています。

さて、本題です。現在放送されている「エール」で、こんな台詞がありました。

「才能って、大げさに聞こえるけど、普通の日常の中に転がっている。」

「人の話を聞くのがうまいとか、家事の手際がいいとか、それだって才能でしょ。」

「コロッケが上手に揚げられた日は、私って天才！って思うの。」

「才能がある」ということ、「夢を持ってその実現に向けて頑張る」ということはとても大切なことだと思います。杉の子の子供たちには、自らの才能を伸ばし、自分の夢や希望に向かって、努力することを惜しまない毎日を過ごしてほしいと願っています。

ただ、小学生の今、「自分には才能がない」とか、「叶えたい夢がない、将来やりたいものがない」と決めつけて考えるのは、まだ早すぎると思います。自分から見つけられる子もいれば、他の人から「君のそれっていいね！」と気付かせてもらう子もいれば、大勢の人とふれあって行く中で、「これだっ！」と見つける子もいるなど、様々でいいと思います。

また、才能も夢や希望も、特別でなくていいと思います。人と比べたり、優劣を付けたり、無理に夢を語らせる必要もないと思います。

周りの友達や大人たちが、日常の中で、「あなたのいいところは〇〇だね。」と声を掛け続けていけば、子供たちは安心して毎を送り、自分の才能やしたいことに気付いていってくれると思います。

詠み人は不明ですが、こんな詩があります。



夏 咲く花もあれば

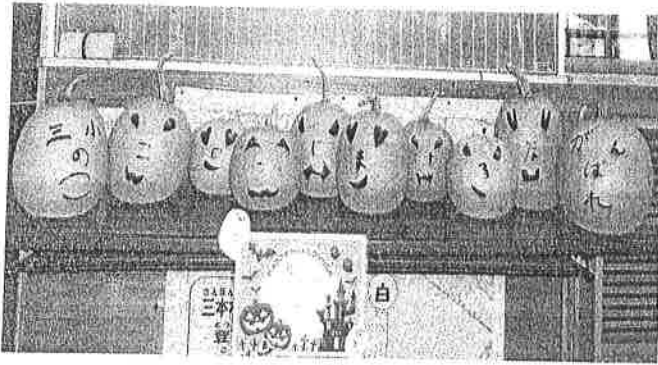
秋 咲く花もある

花は 春に いっせいに 咲かない



現在子供たちは日常の学習に加えて、様々な校外での学習を体験したり、参観日に合わせて行う『校内作品展示週間』に向けて、図画や版画などの作品作りに取り組んでいます。とても個性的な作品揃いです。一人ひとりの子供なりの表現に目を向けて頂ければと思います。

コロナに負けるな！かぼちゃ



今年もあずま町町内会長様より、「ハロウィンかぼちゃ」を頂きました。

今年メッセージ入りカボチャで、「三小の子 コロナに負けるな がんばれ」と書かれています。しばらく児童玄関内に飾ってありましたから、お気づきの方々もいらしたと思います。

おかげさまで、子供たちは寒さにも負けずに元気に学習に励んでいます。



焼き芋食べたよ！

10月27日(火)に、すぎの子学級1・2組とたけの子学級1組のみんなで、自分たちで育てたサツマイモを焼いて食べました。春に苗を植え、夏の暑い日差しにも負けずに農園の草取りをしたり、水をかかさずにあげたりして育てたサツマイモの味は、とっても甘く格別でした。販売体験もして、働くことの大切さを実感できた活動でした。



助産師さんによる「いのちの授業」



10月中旬に4学年で青森県助産師会「あかりプロジェクト」による『いのちの授業』を行いました。

「あなたにとって大切なもの(宝物)はなに？」の問いから始まり、子供たちは「命です」「家族です」「友達や先生方です」「お世話になった人」などと答えていました。

そして、自分の体の脈や心臓の音を聞くことを通して、たった一つしかない命の大切さを改めて学びました。また、「心と体を大切にし相手を思いやる気持ち」を育てていくことも、命を大切にすることにつながることも学びました。



種差での宿泊学習

10月15日(木)～16日(金)の2日間、5年生の子供たちは、八戸市にある種差少年自然の家で宿泊学習を行ってきました。

この学習を通して、クラスメートの新たな一面に気付いた嬉しさを実感したり、もっとグループの絆を深めたいという気持ちを持ったりするなど、気持ちの持ち方の面でも、たくさんのことを学ぶことができました。

そして、「強い絆で結ばれた、前よりも優しく仲間を思いやることができるようになった私たちを、これからの学校生活で証明していきたい。」といった決意を新たにすることもできました。

